

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（87）
2. 日時：令和3年3月11日 15時00分～16時45分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

植木主任安全審査官、片桐主任安全審査官、藤原主任安全審査官※、  
皆川主任安全審査官、土居安全審査専門職※、服部安全審査専門職、  
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与※

東北電力株式会社：

原子力本部 原子力部 課長、他1名

原子力本部 原子力部 部長、他3名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「新型コロナウイルス感染症対策に係る原子力規制委員会の対応の一部変更について」（令和2年6月24日 第12回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- (1) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（耐震基本方針）（O2-他-F-19-0004\_改8）
- (2) VI-2-1-4 耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針（O2-エ-B-19-0006\_改1）
- (3) 先行審査プラントの記載との比較表（VI-2-1-4 耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針）（O2-エ-B-19-0007 改1）
- (4) 補足-600-40-2 設計基準対象施設の耐震重要度分類表について設置変更許可及び建設時工事計画認可からの変更点（O2-補-E-

- 19-0600-40-2\_\_改0)
- (5) 補足-600-40-4 主蒸気逃がし安全弁排気管の耐震クラスについて (02-補-E-19-0600-40-4\_\_改0)
  - (6) 補足-600-40-7 剛な設備の固有周期の算出について (02-補-E-19-0600-40-7\_\_改0)
  - (7) 補足-600-40-35 ボルトの評価断面について (02-補-E-19-0600-40-35\_\_改0)
  - (8) 補足-600-40-13 炉心支持構造物, 原子炉压力容器及び原子炉压力容器内部構造物の重大事故等における耐震評価について (02-補-E-19-0600-40-13\_\_改0)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	高温ですので、
0:00:01	内には所属と名前を発言していただくようよろしくお願いします。
0:00:05	それでは事業者の方からご説明をお願いします。
0:00:10	はい、東北電力の飯田でございます。本日はヒアリング等々をよろしくお願いします。それでは資料確認と、本日の進め方については本店のほうから説明させていただきます。ではあの本店のほうから説明をお願いします。
0:00:25	東北電力ナラダテでございます。固液超えておりますでしょうか。
0:00:32	配当くらい残るのイダです。固液超えておりますよろしく申し上げます。
0:00:37	東北電力ナラダテですありがとうございます。それでは本日の資料構成をまず最初に確認させていただきます。資料一番から8番までございまして、まず資料の一番が該当する評価になってございます。
0:00:53	続いて資料2番から資料4番までが耐震重要度分類に関する仕様になってございまして資料2番が6-2-1-4耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の設備の基本方針ということになってございます。資料3が、それとセットになると、6-2-1-4の比較表と。
0:01:12	いうことになってございます。資料4番が補足600の40-2、重要度分類の補足説明資料ということになってございます。
0:01:22	続いて、ちょっと資料5番から8番までがそれぞれ多目に耐震計算書を補足するための補足説明資料ということになってございまして、資料5番が発足600の44億主蒸気逃し安全弁排気管の耐震クラスについて。
0:01:38	続いて資料6番、補足647号の設備の固有周期の算出について、資料7番の補足640-35ボルトの評価断面について、最後資料8番、高速640-13。
0:01:54	炉心支持構造物原子炉圧力容器及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故等における耐震評価についてという構成になってございます。お手元過不足等なければ、本日の御説明の順番ですけれども、
0:02:10	まず資料一番から4番を使って等は耐震重要度分類ですね、SAの施設分類について、コメント回答等あと補足説明資料本日新しく資料4番ですね、復帰しておりますのでそちらの説明をさせていただきたいと思います。
0:02:26	ここで一旦区切って質疑応答させていただきましてそれが終わった後に資料5番から8番はですねそれぞれ一つ一つは物量そんなに多くないのでできれば資料番から8番まで一気に説明させていただいてまとめて質疑をさせていただければと思っておりますが説明の順番別途以上でよろしいでしょうか。
0:02:48	規制庁ミナカワですはい。今説明いただいた順番で構いませんので、説明のほどよろしくお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:56	配当電力ナラダテs承知いたしました。それでは早速ですが、資料一番から4番までで説明させていただきます。
0:03:05	東北電力ヤマノウチです。それでは資料一番から資料4版を用いまして、耐震重要度分類関連の御説明させていただきます。
0:03:13	まずは資料一番ご用意ください。
0:03:16	資料一番回答整理表の3ページ目からですね、こちらをご覧ください。
0:03:22	左端のナンバーとしましては、26番から次4ページの29番までが本日の回答内容となっております。
0:03:31	まず26番からですがけれども、こちらにつきましては、弾性設計用地震動SD2分の1を乗じたものによる地震力に対して影響を検討するという対応しておったんですけども、十分に耐えるように設計するものとする必要はないかという、ご指摘でございます。
0:03:47	これにつきましては、資料3、
0:03:52	6-2-1-4の比較表の8ページ目をお開きください。
0:03:59	8ページ目に黄色ハッチングしておりますけれども、こちら影響を確認するものという記載から十分に耐えるよう設計するものと記載を変更しております。特に評価の内容が変わるものではございませんので、記載の適正化という形でございます。
0:04:16	続きまして資料一番回答整理表にお戻りください。
0:04:21	指摘ナンバーの27番、こちらにつきましては主蒸気逃し安全弁排気管の機能維持の考え方について説明することとなっておりますが、こちらにつきましては、資料5を用いまして後程説明させていただきます。
0:04:35	めくって4ページ目をお開きください。
0:04:40	ナンバー28、使用済み燃料プールの補助設備である非常用電源及び計装設備について、先行プラントとの差異がわかるように記載することとなっておりますけれども、こちらにつきましても、
0:04:52	資料3、こちらの13ページをお開きください。
0:05:01	資料13の資料3-13ページ目、
0:05:08	女川2号機の記載のところと10その他というところで、こちらの左、左から二つ目の大きな塊ですね、ここの補助設備というところに今回赤枠を追加して、①と黄色ハッチングで示しております。
0:05:24	こちらにつきましては、ページ戻りまして11ページ目をお開きください。
0:05:33	11ページ目の柏崎の①に対応するものでございます。
0:05:40	非常用電源及び計装設備につきましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:45	13 ページ目、すみません、ページ自体で申し訳ないですけども、13 ページ目の
0:05:51	10 その他
0:05:52	こちらの主要設備であります燃料プール水の補給設備、こちらの補助設備という位置付けにしております、こちらに記載しております。
0:06:05	続きましてくる回答整理表の 29 番、重大事故等対処施設を支持する構造物の支持機能が維持されることを確認する地震動の取り扱いについて整理して説明することっております。
0:06:20	こちらにつきましては、資料 3-9 ページをお開きください。
0:06:28	資料 3-9 ページ、4.2. 3、間接支持機能及び波及的影響というところに黄色ハッチングで記載を追加しております。
0:06:38	表 4-1、それから表 4-2 ですね、こちらに当該施設を支持する構造物の支持機能が維持されることを確認する地震動の追記しております。具体的な記載につきましては、資料 2、
0:06:53	資料 2-27 ページをお開きください。
0:07:03	資料 2-27 ページから 44 ページまで、こちらが表 4-1 となっておりますが、
0:07:09	この右二つの列ですね、間接支持構造物、それから波及的影響を考慮すべき精通というところに、検討用の地震動として括弧で $S_s$ というふうに追加しております。
0:07:25	続きまして資料 4 をお開きください。
0:07:30	補足 600 の 40-2、設計基準対象施設の耐震重要度分類表について、設置変更許可及び建設時工事建設時工事計画認可からの変更点ということで、et で説明したときの受重要分類それから建設時の重要度分類からの変更点について整理した資料でございます。
0:07:52	めくっていただきまして 2 ページ目ですね。
0:07:56	こちらにつきましては先ほど御説明した添付書類 6 の 2-1-4 のうち、表 2-1、設計基準対象施設の需要耐専重要度分類表について、設置変更許可段階からの変更点、それから建設時の工事計画認可からの変更点について整理したものでございます。
0:08:15	2 ページ目をお開きください。
0:08:18	2 ページ目に表の 1 ということで、設置変更許可からの変更点を整理しております。
0:08:25	2 ページ目 3 ページ目に 17。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:29	項目ですね、書いておりますけども、変更内容としましては、工事計画認可申請書において、登録してる名称、設備の名称を変更しているということそれから例えば④のように設計進捗に伴う変更ということで、
0:08:46	波及的影響に関する検討が進んだことによって対象設備が変化したものをという変更になっております。
0:08:57	続いて4ページ目をお開きください。
0:09:01	3建設時工事計画認可からの耐震重要度分類の変更点ということで、
0:09:07	建設時から変更になった設備としましては、大きく分けて三つのケースのものがございます。
0:09:13	一つ目が耐津波に関する設備の追加、これは耐震重要度分類がSクラスの設備の追加となっております。
0:09:20	それから二つ目としまして、地下水位低下設備の追加、これは耐震重要度分類がCクラスとなっております。
0:09:27	それから三つ目としましては、非常用ディーゼル発電機等の燃料を貯蔵する設備の掲げて建設上Cクラスだったものが7日分の燃料確保という観点で、Sクラスに格上げとなっている範囲がございます。
0:09:42	それから耐震重要度の耐震重要度分類の変更ではないんですけども、検討用地震動が変更になった設備についてもまたあわせて整理しておりますので、5ページ目をお開きください。
0:09:55	表2-1として、建設の工事計画認可から耐震重要度分類が変更となった設備を整理しております。
0:10:02	①番として耐津波に関する設備の新規追加ということで、浸水防護設備、耐震重要度Sクラスのを追加しております。それから②としまして地下水位低下設備、こちらはCクラスですけども、
0:10:17	Ssに対して機能維持する設計としております。
0:10:20	それから③としまして非常用ディーゼル発電機等の燃料を貯蔵する設備として耐震重要度Sクラスと整理しております。
0:10:29	続いて表2-2、検討用地震動が変更となった設備ですけども、原子炉建屋クレーンにつきましては、建設時は経営S&地震動に対する
0:10:39	検討を行ってございましたが、今回工認におきましては、Ss基準地震動Ssに対する
0:10:45	対して波及的影響を考慮すべき地震動として整理しております。
0:10:53	6ページ目以降につきましては具体的に設置変更許可時の耐震重要度分類整理表から今回の工事計画認可における耐震重要度分類整理表がどのよう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	に変化したかというところを明示したものとなっておりますので、説明は割愛させていただきます。
0:11:09	資料 1 から 4 の説明につきましては以上となります。
0:11:16	規制庁ミナカワですそれで廃炉の今の説明について確認等あればお願いします。
0:11:31	規制庁いけます。
0:11:34	資料 4 をお願いします。
0:11:42	2 ページの表の
0:11:46	対ドルに関わるものなんですけれども等、
0:11:53	設置変更許可からの変更点というふうに書いてあるんですが、これは今回工認の設置、
0:12:03	変更許可からの変更点ということによろしいでしょうかちょっとあの、この表のほうもですね、変更。
0:12:12	前変更後、
0:12:16	としか書いてなくて、今回工認っていうのはどこにも書いてないので、この表だけ見たときにちょっとわかりづらいなど。
0:12:25	ちょっと思ったんですけれども、いかがでしょうか。
0:12:29	はい、東北電力ヤマノウチです左側が変更前と書いておりますのが今回設置変更許可を申請しておりますEPのまとめ資料の時の記載となっております、変更後が今回申請している工事計画認可となっておりますので、そこがわかるように記載を適正化させていただきたいと思います。以上です。
0:12:51	規制庁輸血お願いします。
0:12:53	それとあと、4DGなんですけれども、
0:13:01	説示工認からと変更点ということで、
0:13:08	そう大きく①から③まで曲げられてるんですけれども、
0:13:16	この中で、
0:13:18	ちょっとさらに追加で示していただけたい統合持っているのは、
0:13:27	建設時にそのAクラスであったものが、
0:13:33	整数への一本化っていうことでSクラスになってるものがあると思うんですけれども、これについても、
0:13:42	変更点にあたるのかなというふうに
0:13:47	思うんですけれども、
0:13:49	というのは、
0:13:51	今日の資料の 8 のほうでですね、もうちょっと炉内構造物直下をが出てきてそこでなお素案で評価していたのを今回購入Ss

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:06	で評価するというのが出てきて、それを見たときにちょっと理由がわからないというのもあるので、9月からSクラスになったものっていうのもここに挙げたほうがより変更という意味ではわかりやすいかなと思ったんですけども、いかがでしょうか。
0:14:33	はい。
0:14:35	はい、東北電力のヤマノウチです。確かにおっしゃる御指摘の通り、建設時の設置許可ですと耐震クラスがそれからAsという記載になっておりまして、今回はすべてSというふうな記載になっておりますので、代表的な部分、変更をAからFになった部分について整理して、
0:14:53	御説明差し上げたいと思います。以上です。
0:14:59	規制庁域ですお願いします。
0:15:02	それと、
0:15:04	5ページでですね表の2-2。
0:15:10	検討地震動が変わったものとして現象建屋天井クレーンっていうのが上がっているんですけども、
0:15:18	今日の
0:15:21	あとの説明のほうにも出てくる主蒸気逃がし安全弁排気管については
0:15:29	変更はないんでしょうか。
0:15:39	東北電力ヤマノウチです少々お待ちください。
0:16:05	規制庁大柿です。
0:16:10	これについては後で主蒸気逃がし安全弁排気管の
0:16:17	検討地震動については説明があるので、そこで説明していただいても、
0:16:25	或いはまあちょっと建設G-
0:16:30	調べてればいけないというのもあるので、近いでも構わないんですけども、
0:16:38	ここに記載するかどうかっていうのを検討をお願いしたいんですがよろしいでしょうか。
0:16:44	はい東北電力ヤマノウチです建設時の扱いを整理した上で、可能であれば本日中にご説明しますし、間に合わなければ、次回以降の御説明とさせていただきます。以上です。
0:16:56	規制庁大きくお願いしますセットや投資からは以上です。
0:17:07	ホッカンありますでしょうか。
0:17:11	ヤマウラ
0:17:13	規制庁のヤマウラです。記載だけ。
0:17:17	なんですけども。
0:17:19	3の資料の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:22	5 ページの
0:17:27	緑色の文章の上から 2 行目で、
0:17:32	常設耐震重要事故何だかんだってというのが
0:17:36	コンマがなくてずっと繋がってるので。
0:17:39	ちょっと途中でコンマを追記していただきたいと思います。
0:17:45	はい、東北電力ヤマノウチです。ご指摘の通り、常設耐震重要度重大事故防止設備と常設重大事故常設重大事故緩和設備の間にかんもありませんので追加いたします。申し訳ありませんでした。
0:17:58	それから 6 ページ。
0:18:01	なんですけれども、これ
0:18:03	隔離弁のバウンダリの絵が先行プラントと同じ表現なんですけども。
0:18:12	例えば、
0:18:13	一番上は内外に隔離弁があるんですけども。
0:18:19	その下の外側だけしかなくて、多分、多分これは通常時閉の場合に、
0:18:27	バウンダリがこうなるということじゃないかと思うんですけど、そのスキームを書くわけにはいかないのかなと思うんですが、7 ページとか後、
0:18:37	RCSのバウンダリのところもあるんですけども。
0:18:41	先行プラントもそれなりの事情があるかもしれないんでちょっと
0:18:48	弁の開閉を示すことができるかどうか検討をお願いしたいんですがいかがでしょうか。
0:18:57	東北電力のヤマノウチです。ご指摘のあった点につきまして検討して弁の開閉表示を検討させていただきます。以上です。
0:19:07	それから 11 ページで、
0:19:11	これは、
0:19:13	ちょっとお伺いするだけなんですけども、今日のタイトル。
0:19:18	ページの
0:19:19	資料のタイトルで女川では設計基準対象施設の耐震重要度分類表と。
0:19:24	いうことになって、東海ではまた違う名前で推移し、
0:19:29	柏崎では違うの名前で、
0:19:32	それぞれなんか、何となくちょっとすっきりしないところもある。あるんですけども、女川でこういう名前に変更した。
0:19:41	考え方っていうのはどういうものなんでしょうか。
0:19:48	相手国電力ナラダテです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:50	それとですね、こちらのタイトルについては設置変更許可の審査時にもちょっと議論になったところでございます。テーマ先行の東海第2酸ば一つとクラス別施設という言葉を使っているんですけど。
0:20:03	実際問題表として求めているのは耐震重要度分類だよねというふうな話が当然どなたかわかりませんが、規制庁さんのほうからありまして、弊社としても確かにちょっとわかりづらいところあるなということでお亡くなりになりましては、わかりやすくすっきりと耐震重要度分類上と。
0:20:21	いう名称をつけたということでございます各部局としてはそんな感じです。以上です。
0:20:28	これです。そのような事情があるんだったら理解いたしました。
0:20:33	私からは以上です。
0:20:40	今後、在宅の方が何かありますでしょうか。
0:20:46	規制庁扶助につきま9 ちょっとよろしいですか。
0:20:50	お願いします。
0:20:52	資料4の2ページをお開きいただきたいんですけど、この表の1つというのがありまして、ちょっと目先人達が理解しないだけかもしれませんけど、この④番の全面護岸の設計変更前は変更がちょっと消えて、
0:21:10	この理由が何かここで書かれているんですけどちょっと何かこれだといまいちなんで消したかわからない。
0:21:18	ちょっと今簡単に御説明いただきたいと申し上げた、このちょっときちつとその理由の中でいただいたほうが例えば何かの施設を見直して波及的影響が不要になったとか、そういったものをちょっと教えていただけますか。
0:21:37	東北電力ヤマノウチです。少々お待ちください。
0:21:46	東北電力ヤマノウチですと前面護岸につきましては、取水口等貯留堰に対する波及影響を波及影響の対象設備となっております、設置変更許可の段階では機能別分類というところに当冷却系の記載があるものについて幅広く記載しておいたために、
0:22:11	資料4-7ページ目をお開きください。
0:22:19	資料4-7ページ目の
0:22:23	設置変更許可という方ですね、こちらで④として全面護岸書いてありますけれども、これが何の波及的影響を考慮すべき施設と考慮していたかといいますと、補助設備にあります。非常用電源及び計装設備、
0:22:39	括弧の中にあるその冷却系を含めて、この冷却系のところに幅広く対応した記載として全面護岸を記載しておりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:47	ですが今回の工事計画認可の対象の中では明確に取水口と貯留堰に対する波及的影響を考慮する既設というふうに整理しましたので、今回はこの項目から削除しております、
0:23:03	当取水口と貯留堰がある部分に対して、全面護岸の記載を残しております。説明は以上です。
0:23:12	はい、規制庁浮上実は何か言ってることは理解しました。ただ、今の話だとこの変更理由は何かよろしいですか次置いとくのはなかなか厳しいようにちょっともうちょっと何か記載検討いただけませんかでしょうか。
0:23:26	はい、東北電力のヤマノウチです。変更理由につきまして、投票位置の変更理由ですね、こちらにつきましては、もう少し詳細に記載するようにいたします。
0:23:45	ほかに何かありますでしょうか。よろしいですか。
0:23:50	それでは事業者の方で続きの説明をお願いします。
0:24:00	こういった東北電力ナラダテです。それでは後半の資料 5 から 8 までについて一通り説明させていただきたいと思います。
0:24:11	まずはお手元資料 5 番目と補足。
0:24:15	委員長。
0:24:17	600 の 40-4 ですね、主蒸気逃し安全弁配管の耐震クラスについてという資料をご覧ください。
0:24:31	こちらの資料でございますが、専攻科長で起算等も作成されている資料でございますが、こちらの耐震クラスについてその考え方を整理した補足説明資料ということになってございます。
0:24:50	お開きいただいて 1 ページ目に COTS のところから説明させていただきます。主蒸気逃し安全弁排気管につきましては、安全弁が作動した際にですねその海域をサプレッションチェンバへ導くためのラインとして存在しているものでございます。
0:25:10	こちらのラインでございますが、女川 2 号機におきましては建設時から B クラスと、いうふうに設定して設計しているということでございます。
0:25:21	先ほどウエキさんからの確認ございましたが、建設時はですね B クラスというふうに設定していますが、社内設計として今回と似たような考え方として相談室地震動に対する設計を実態的に行っているというところは先ほどちょっと確認しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:40	今回はその考え方も踏襲しつつですね、B格をSs機能維持というふうな設定としております。こちらはドライウェル内S/C内それぞれ同じような設定となっているということでございます。
0:25:55	こちらも考え方はそれぞれ表1のところにとまっております、まずドアドライウェル内でございますが、まずあれかツールを4ページの図3をご覧ください。
0:26:11	4ページに示しますのはD/W内で排気管が仮に地震時に破損した場合にどういった蒸気がどういった蒸気の流れになるかというものを模式的に表した図でございますが、ドライウェル前で当配管破損した場合ですね蒸気が
0:26:28	当ベント管を通じて、サブプレッション・チェンバ内の水、導かれるということになってございますので、この流れによって蒸気が凝縮されますので、格納容器ドライウェル内のええと圧力は有意に上昇しないというような流れになってございます。
0:26:46	こういった等なんでしょう。補助金の中になりますので繰り返しになります格納容器は有意な圧力上昇がないというふうに考えてございますが、そこは格納容器の健全性を担当する意味でも保守的にですね、Ss機能維持を
0:27:02	かけているといった考え方でございます。
0:27:05	続きましてサブチャンでございます。5ページに同様に行けるようも示してございます。
0:27:13	はい、S/C内ではい期間が仮に破損した場合
0:27:19	社長前の気相部ですね、配管の破損した場合は蒸気が発生しますと、いう状況でございます。こちらはですね直接的に水中に料金が導かれるという流れにはなりませんので、ちょっと蒸気の凝縮性能が
0:27:35	D/W内よりも落ちる可能性があるということで、こういった現象もかんがみまして保守的にSS機能維持をかけているというのがS/C内の考えでございます。
0:27:47	はい。
0:27:50	ちなみにですね別紙のほうに
0:27:54	SR弁の排気管がOSS設備として登録されておりますので、そのSA設備として登録している考え方を別紙のほうにまとめてございます。
0:28:04	こちらはですね先行プラントさんと同様の考え方でございまして後任の開度手続きのガイドですね、こちらに示されている所配管の考え方でですね、
0:28:16	その主たる機能を発揮するために本量が流れる配管の図書配管というふうに定義しておりますので、SA設備としてS/R弁からS/Cまでこちら辺すべからくとしとるんその本流が流れる配管というふうに考えてございますのでSA設備として登録しているということをまとめてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:35	はい、こちらの資料説明以上でございます。続いて資料 6 万遅く 600 の 40-7 項の設備の固有周期の話についてをご覧ください。
0:28:48	はい、めくっていただいて、1 ポツ初めに、本資料の位置付け書いてございますが、女川 2 号の耐震計算書におきまして横軸ポンプについてはですね、こういう周期が十分に小さいので固有周期の算出は省略しますと、
0:29:05	いうふうに何で設計判断としてこういう初期の参集はせずに 5 と判断しているというものでございますので、実際に個人ポイントが多い上部の剛性持っているのかというのを、今回はですね直流駆動低圧注水ポンプを例に挙げて実際に計算をしてみましたというのがこちらの資料になってございます。
0:29:28	2 ページを御のすいませんちなみに 11 ページ目の 1 ポツ、はじめにのところに経産省がずらっと並んでいますが、こちら辺の横軸タンクですね、こういったものが十分にこうであるというふうに計算書の中で、ええと判断しているものになります。はい。
0:29:45	2 ページのほうから具体的にどういったこういう初期の計算をしているかという説明になってございます。2 ページ目の図 1-2 下のほうのですね、こちらに今回横軸ポンプをどのようにモデル化したかというモデル図の模式図ですかね、示されてございます。
0:30:04	左側にモデル原形としてそこ軸ポンプの構造を考慮してこんな形で貼り束ねてモデル化してますというのがありますが、実際にこういう状況検査をする際はですね、もっとシンプル化の方が手計算しやすいので実際は真ん中の鉛直方向モデルというのと右側の軸直
0:30:23	各方向も出るというふうにバネ構成を合成した形で計算をしていくというものでございます。
0:30:30	続いて 3 ページ目の図 1-3 には同じように軸方向のモデルを記載してございます。
0:30:37	こういった考え方に基きまして 3 ページの真ん中から下のところに書いてある計算式を使って計算して今回こういう周期を計算しましたというものでございます。
0:30:48	結果が 4 ページ以降に記載されております。4 ページ表 1-1 が軸直角方向、次のページ表 1-2 が鉛直方向、最後 6 ページ表 1-3 が東地区方向ということでそれぞれ固有周期の辺り書いてございますが、いずれも、
0:31:07	十分にこういう周期としては小さい値となっておりますので、非常に大きな剛性を持っている設備ということが今回改めて確認されましたという内容になってございます。
0:31:21	資料 6 番の説明は以上でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:24	続いて資料 7 番でございます。補足 640-35 ボルトの評価断面についてをご覧ください。
0:31:34	はい。
0:31:35	作っていただいて 1 ページ目、はじめに書いてございますが、女川 2 号機の設備の評価設備に使っているボルトにつきましては、基礎部に使っている。支持構造物としてのボルトとそれとは別にですね配管のフランジ部なんかを接合するような
0:31:56	おるといことで支持構造物とはちょっと違う使い方をしていいるボートというものがございまして、こちらの評価に適用している評価断面が少し異なっていますのでその考え方について整理しているのが本資料でございます。
0:32:10	さっき、
0:32:11	具体的な内容にポツからになってございまして、まず、2 ポツ 1、こちらではですね。ええと支持構造物として基礎ボルト等のVですねこちらはこういった評価断面で評価をしているかという説明になってございまして。
0:32:27	まず支持構造物、の考え方ですけど、2 ポツ 1 こっちの 1 の評価断面というところにジャック 46011987 と書いてございまして、こちらの中に時約 4 億①方 198 ということで、
0:32:43	協力の考え方は 1984 で設定されているということを整理していますがこの 198 円な中で、告示 88 条が読み込まれているということでございまして。今回新規制におきましては告示 88 たすいませぬ告示はですね設計建設規格JSME に読みかえてございまして、
0:33:03	JASMINEの該当する部分、SsB3130 を 2 ページ目に示してございまして。
0:33:09	衛生設備 3130 を見ますと、供用状態AからDいずれにおきましても、支持構造物のボルトにおきましては呼び径断面を適用するというふうに記載されておりますので、この記載に従いまして女川 2 号の支持構造物と。
0:33:26	して基礎ボルト等ですねこちらは呼び径断面を評価しているということでございまして。
0:33:32	続いて 2 ポツ 1 ポツに協力でございますが、呼び径断面を使っているというところをかながみまして、JSMEの解説SB採算位置に記載がございまして、そちらのバスの一番最後ですね。
0:33:47	等のところにft=0.5mとしたというふうな記載がございまして。これは呼び径断面を使って評価をするということになりますので、それよりも谷系のほうが断面の小さいということは当然ございまして、そういったところに配慮しまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:06	0.75 倍かをかけまして、0.5Fにしているということで、フォールト以外の支持構造物は基本的に 1.5 分もFという許容値を使うんですが、そこをボルトに関しては、とさらに倍下げる形で 2 分もFという考え方にして、
0:34:23	／2 ケア呼び径断面を使うことへの配慮をしておりますので、そういったところで最小断面を使うか呼び径断面使うとかというところで差はない設計になっているということでございます。
0:34:35	続いて 2 ポツにフランジ部のボルトでございますが、
0:34:39	フランジの評価につきましてはJSMEのppb産業 14 というところに、
0:34:44	3 ページ目に抜粋しております記載がございますが、2Pd314 の(2)cポツというところを見ていただきますと日本工業規格実にB8 に 6 号により算出することと、いうふうに規定がございます。
0:35:01	こちらの規定に従いまして女川 2 号では実施済み 8 に 6 号の附属書 3 というものを適用して評価を実施してございます。
0:35:09	具体的には 2 ポツ 2 ポツに書いてございますが、そちらに書いてあるAB＝という式を見ていただきますと、これ単純にボルト燃えた面積を計算する式でございますがこの中のBという希望がボルトのねじ部の谷の系統時区分のKの殺処分の小さい模型ということで最小断面、
0:35:29	キタック、だめ責務を計算する式になっているということでございますので、女川 2 号におきましてはこの式を適用しましてええとフランジ部のボルトにつきましては最小断面を使っているということでございます。
0:35:41	あと協力としては 2 ポツ 2 ポツに書いてある通りこちらPPB3 一応に従って東京引張応力のSsに基づき評価しているということになってございます。
0:35:53	まとめでございますが、支持構造物のボルトとフランジ部のボルトで設定の中がbarそれぞれありますが、いずれもですね、非保守的にならないように配慮しながら設計しているということで考え側の設計の考え方として大差ないものというふうに考えてございます。
0:36:12	資料 7 番の説明は以上でございます。
0:36:18	東北電力のクマガイです。資料 8 からはですね説明者かわりまして、クマガイのほうから御説明させていただきます。
0:36:27	資料 8、につきまして同補足 600 の 40-13 ということで、炉心支持構造物圧力容器及び圧力容器内部構造物の従来事故等における耐震評価についてということで、
0:36:42	これらのですね政治の評価条件をお示しているというものが本資料になってございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:50	当ページめくっていただきまして1ページ目ですね2ポツのほうで表2-1ということで、当時アップの養鶏に従った圧力容器炉心支持構造物ウェイ原子力
0:37:06	圧力容器内部構造物も要件に従って現状のDBの評価条件を整理したのになってございます。結論から申し上げますと東映と荷重の組み合わせ等を考慮しまして、運転状態Ⅰ、Ⅱにおける圧力温度条件に対します
0:37:25	基準地震動SD及び精通による地震荷重を含む外貨情報を組み合わせた応力評価を行ってございます。
0:37:35	炉心支持構造物圧力容器すいませんへと圧力容器、炉心支持構造物、原子炉圧力容器内部構造物ともに同様の方針となっております。
0:37:47	先ほどウエキさんの方からご指摘ございましたの当時区のほうでは圧力容器内部構造物、こちらについて予約状況ですとAクラスになりますので、S案との組み合わせを行っておりますが、基準要求が変わりましてええとSクラスとして今回幅
0:38:07	すでに清掃の評価を行っているというものになってございます。
0:38:12	ページめくっていただきまして3ページ目に表のほうを整理してございますが、こちらはJABIに対してSAの耐震評価方針ということで整理したものでございます。
0:38:25	対象設備は先ほどと同様ですけれども、ここでですね原子炉圧力容器及び炉心支持構造物、こちらにつきましては、若干の記載の通りですね圧力容器バウンダリに属する設備になりますので、
0:38:43	原子炉圧力容器内部構造物についてはそのため、構造物になるということでここで説明させていただきます。
0:38:54	それらの設備区分からですね重大事故等対処設備としての耐震評価方針としては、圧力容器、炉心支持構造物ともにですね従来10分値の評価の記載をそう楽するという方針でございまして、
0:39:12	原子炉圧力容器内部構造物こちらのみがですね重大事故時当時における評価結果を示す設備になってございます。
0:39:23	当社省略の考え方についてはそれ以降のページのほうで説明させていただきます。
0:39:30	まず現象を圧力容器の耐震評価方法、方法ということで当荷重条件の整理したものをですね6ページ目の表4-2のほうに整理してございまして、
0:39:44	はい。
0:39:47	こちらのほうに重大事故等を受賞ということで重要事故シーケンスについては全事故シーケンス

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:39:56	事故発生後の期間につきましては運転状態 VL 及び LN 英語を終えると申しますのが $1 \times 10$ のマイナス二乗年以降、 $2 \times 10$ のマイナス 1 乗値未満。
0:40:10	英語 LL と申しますのは $2 \times 10$ のマイナス 1 乗年以降の期間を示すものでございます。
0:40:19	この時のですねえと事故時荷重につきましては記載の通りですね配管破断による漏えい事故時荷重は生じないということでこのような事象になってございます。その横にですね運転状態 I、
0:40:35	及び運転状態 II の評価の関係の方を示してございますが、
0:40:41	事故時荷重につきましては SA 時は、配管破断のような荷重が生じないということでバーという記載をしてございます。
0:40:50	その隣のピーク圧力の包絡線につきましては洞道で BC のですね給水ポンプ停止のピーク圧力に包絡されるということで確認してございます。
0:41:04	それから温度の崩落性につきましても給水ポンプの温度に包絡されるということで、圧力容器原子炉圧力容器の成人の評価につきましては dB の評価条件に包絡されるということで評価のほうを記載しないと。
0:41:22	いう方針になります。
0:41:25	続きましてページめくっていただいて炉心支持構造物の考え方の説明になりますが、9 ページ目をお開きください。
0:41:40	障防法の 2 のほうに炉心支持構造物に開発に対する従来事故当時、
0:41:48	でしょうと、運転状態 I 及び II の評価との関係を示してございますが、
0:41:54	圧力容器と同様にですねピーク圧力温度ともに包絡されるということでベビーの装荷条件、
0:42:04	dB による評価のみ記載するという方針になります。
0:42:09	続きましてページめくっていただいて 10 ページ目、こちらからはですね原子炉圧力容器内部構造物の耐震評価方法ということで整理したのになってございまして、
0:42:19	ページめくっていただきまして 12 ページ目。
0:42:23	ですね、表 6-2 ということで圧力容器内部構造物に対する重大事故事象と運転状態 I 及び II の評価との関係を示してございます。先ほどまでの設備につきましては原子炉圧力容器バウンダリーとなっておりましたので、
0:42:43	荷重の組み合わせの考え方から、運転状態 V AS の期間の記載をが不要となっておりましたが、圧力容器内部構造物につきましては全般設備に区分されるためそちらの期間についても
0:43:00	包絡性を確認するとしたという結果になってございます。
0:43:06	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:07	当時事故発生後の期間ということで1掛ける10のマイナス二乗値未満、こちらが運転状態、その期間となりまして、こちらのトピック左のほうに進んでいただいて、
0:43:22	右のほうに進んでいただいてピックアップサーバーとの包絡性ということで各
0:43:29	機器ごとに事象を考慮することで定められた差圧に包絡されないということでSAの評価が必要ということで、原子炉圧力容器内部構造物については衛星の評価を記載するというものになります。
0:43:47	また、温度の崩落性につきましても注水ポンプに
0:43:52	うん、給水ポンプ停止の温度にすぎません。突起がありましたけれども、こちらもええと包絡されないということで温度の観点からもASN
0:44:05	ea荷重の組み合わせが必要ということで、SAの評価を載せるという方針になります。
0:44:14	整理しますと、原子炉圧力容器、原子炉炉心支持構造物につきましては、圧力容器バウンダリ
0:44:26	整理されまして、過剰な包絡されるということから、衛星の評価は記載しない。
0:44:33	圧力容器原子炉圧力容器内部構造物につきましては全般設備に区分されまして、
0:44:45	整備条件をSA条件が上回ることから耐震評価結果について、については記載するというふうな更新になります。
0:44:54	はい。
0:44:56	以上でこちらの資料の説明を終わりにしたいと思います。
0:45:01	規制庁ミナカワ利水とそれでは確認に入りますが、すみません確認の前に、今の南米8の資料の12ページで、
0:45:12	動きがあったという説明があったと思うんですけど、すみませんもう一度誤記の箇所と教えて説明してください。
0:45:23	はい。
0:45:24	はい、東北電力のクマガイです。誤記の発言をさせていただきますのは表6-2のほうの運転状態I及びIIの評価との関係ということで、温度の包絡性を記載してございますが、
0:45:42	一番上段のですね給水ポンプ停止の温度に包絡されると記載されてございますが、これは規制包絡されないという記載になります。こちらの記載につきましてはページじゅあ先ほどご説明しておりませんがページ10ページ目のほうに、
0:46:02	もう開いていただいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:05	かっこうに圧力温度をここにですね下から 2 行目になりますけども、すみません 3 行目からですね、設計基準事故時の評価圧力及び評価温度に包絡されない。
0:46:24	ということでこちらの記載のほう为正しくなりますので時 12 ページ目のほうについては別途修正させていただきたいと思います。
0:46:35	規制庁ミナカワです了解しました。それでは
0:46:39	資料を項番から 8 番まで確認お願いします。
0:46:53	規制庁起動すると資料 5 番について等の確認です。
0:47:00	1 ページにですね今回工認で主蒸気逃がし安全で排気筒案 P 各 Ss にする。
0:47:11	いう
0:47:13	ことについては、
0:47:16	それについては特に否定するものではないんですけども、ちょっとこの資料の記載に関して幾つか
0:47:24	事実確認等させてください。
0:47:29	まず、
0:47:33	1 ページの表 1、
0:47:36	のを D/W ない。
0:47:39	肝癪肩のところですね。
0:47:43	SSM
0:47:46	によって排気管が破損したとしても D/W 内に放出された蒸気は、
0:47:54	ベント管を通して凝縮すると。
0:47:57	産業までですね、格納容器内お作りいう有意に上昇することはないと、括弧書きに、
0:48:06	それと最高使用圧力を超えることはないというふうに書いてあるんですけども、
0:48:13	この括弧書きの
0:48:15	最高使用圧力を超えることはないということは、
0:48:21	何か定量的に確認をされているのでしょうか。要は配管が破れてとらえるの蒸気をずっと噴きどしつ放しに
0:48:32	その状態がずっと続いて、
0:48:36	その場合でもですね。
0:48:38	最高使用圧力は超えないということは確認をされているのでしょうか。
0:48:48	。
0:48:50	配当この辺 6 ナラダテです。今法のご質問最高使用圧力を超えることはないというところを定量的に確認しているかということでございますがすみません今

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	即答できませんので、ちょっとあのプラントめ工でどういった検討をしているかという、この背景なんかも
0:49:09	確認してちょっと回答をさせていただきたいと思います。以上です。
0:49:14	規制庁ウエキですお願いします。
0:49:16	それとあと、時表でサプレッション・チェンバ内のほうの記載なんですけれども、
0:49:27	主蒸気逃がして2行目からですね主蒸気逃がし安全弁から廃棄されたと。
0:49:34	上記を十分に行われなくなる可能性がある。
0:49:39	すみません、ちょっとその前からですねS/C内の気相部で破損した場合、
0:49:47	した場合ですね状況。
0:49:50	蒸気の凝縮が十分に行われなくなる可能性が考えられると。
0:49:57	確認したいのはここで可能性が考えられるというふうに書いてあるんですけども、
0:50:03	本市の理解度等、
0:50:09	5ページにこの状態の図があるんですけども、
0:50:14	はい期間がSOPサプレッションチェンバ内の気相法で破断して気相部の蒸気がこう
0:50:24	充満するわけですけども、そもそも水中ニーソの放出されなくても、
0:50:32	凝縮
0:50:34	されるされる可能性もある。
0:50:38	ですからされる場合もあるんですか。私も
0:50:44	配管のところ、
0:50:45	とかいう通して水中に導かれなければ、
0:50:50	凝縮をされないのかなと思ったんですが、いかがでしょうか。
0:51:00	はい。
0:51:01	東北電力ナラダテです。すみませんこちらの質問もですねちょっと
0:51:07	建設時の検討とかちょっと確認させていただきますが基本的にはおっしゃる通り漏斗置き場水中にはっきり出されることは前提で凝縮性能の確認とか行われているものと思います。ただ、一方ですね規則で破断しても全くゼロかと言われると。
0:51:25	ちょっとなかなか0っていうのも、より良いかなという部分もありますのでちょっとすみません性格のところは確認させていただいて、回答させていただきます。以上です。規制庁ウエキです。今の確認をですね、過疎化層だけの同様な資料では

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:42	可能性があるっていうふうに表示ではなくて十分に行う行われないうふう に言い切っている、いるんで行わその可能性があるっていうふうにとちょっと書き 直している、何か良いいところあるのかという趣旨で、
0:51:59	各確認しました。別途確認いただきたいと思います。
0:52:05	そういう。
0:52:13	あと、ちょっと記載の話なんですけど、4 ページとかです、55 ページのこの図 で、
0:52:22	拝見かばんした後に今回ここで上部蒸気
0:52:29	いうふうに書いてちょっとこの辺がですね、見にくい。
0:52:33	いいので、できればもうちょっとわかるように、
0:52:38	と書いていただければなど。これ続行の趣旨説明資料の肝になるところなの で、もうちょっと明瞭に、
0:52:47	書いていただいたほうがいいかなと今 4 ページ 5 ページの図で減少建屋を全 部この図に書いてますけど、着目すべき
0:53:02	もっと部分的なところだと思うんで。
0:53:05	各その部分だけ拡大して記載していただくともうちょっとスペース的に、
0:53:12	等と大きくなって常勤のもやもやっていうのがイメージ的にはわかると思うの で、ちょっと記載を検討いただきたいんですかでしょうか。
0:53:26	東北電力ナラダテです。はい、承知いたしました。ちょっと多分先行さんの踏ま えてつつ作ってたところはあるので、もうちょっと見やすいように拡大するとか 工夫したいと思います。以上です。
0:53:40	規制庁溶液でそのようにします。
0:53:45	えっとですね。
0:53:47	あとちょっとまた 1 ページ戻って、
0:53:55	細かい話なんですけれども、D/Wない。
0:54:01	せっかく考え方のところですね。ドライウェル内に放出された状況、ベント管を 通してって書いてあるんですけど。
0:54:10	それと、これはSsが来たときにベント管が高齢低の一致という前提で書いて いてそれはなぜかというベント考えSクラスだからってということだと思うので、 ちょっとその辺、明確に
0:54:29	まあベント管過去耐震Sクラスとかです。そういう。
0:54:34	ことをわかるように、4 ページ 5 ページの図もベント簡便どっと増えたとかまあ とかこの辺の耐震Sクラスであるということとをちょっと明記していただくと、この 地震動との関係がより

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:50	わかりやすくなる。あと健全性ですね、Ssに対する健全性の関係がちょっとよくわかるようになるので、ちょっとその辺を工夫していただきたいんですがよろしいでしょうか。
0:55:06	はい東北電力もらってですね、ご指摘の検証といたしますと基本的には徘徊がここら辺の図に書かれている設備部を、
0:55:16	そうですねすべてSクラスになりますので、そこら辺がわかるように記載させていただきますと思います以上です。
0:55:24	規制庁件数等お願いします。ちょっと今言った話って結構ポイントになると思っていて、
0:55:37	建設時は、圧力抑制装置、ベント管とかベント下手はプラスだったわけですねそうすると
0:55:47	昔のままで精査す通学費等々時の説明っていうのは、
0:55:53	今回の説明とちょっと変わってきて、建設時と比較しろと言ってるわけではないんですけれども、結構そこがですね今回Sクラスで統一されたことによって説明がシンプルになったっていうふうに私は考えていて、
0:56:12	いるので、
0:56:13	ちょっと耐震クラスは明記していただきたいと思います。それとそれから今ちょっと
0:56:22	ですから先ほどなど損の方から建設時は社内設計として、今回と同じようにB加工Ss普通ですか文科省でやっているというお話があったんですけれども、
0:56:38	それは理解しましたが、こういうではどういうふうに出されていたかっていうのをちょっと示し、
0:56:47	次回でもいいので説明していただいて、先ほどの
0:56:52	最初の資料のほうの資料の建設時との比較検討地震動の比較についても、
0:57:03	社内設計
0:57:06	離隔Ssというのは書いていただくことはやぶさかではないんですけども、工認取り扱いとしてどうなっていたか。
0:57:17	ことについても、被告として示していただきたいんですがよろしいでしょうか。
0:57:27	ドイ東北電力ナラダテですはい今このウエキさんの御指摘ですけれども建設Gのあれですね、建設時の耐震クラスは営推に分かれていてそれが今回Sクラスに統合になったので、昔の建設時の耐震クラスから今、
0:57:46	耐震クラスのその変性がわかるようにということかと思えます。すいません先ほど私説明のときに廃棄緩和社内設計で損失って言ったんですがそれでちょっと手元にもちょっと資料見て答えちゃったので、すみません、正確なところをプラントメーカーに確認した上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:01	再度御回答させていただきます。その内容とあわせて建設時の工認がどういった形で出されていて、そんなら、ここら辺のPCV周りの耐震クラスをどういった関係性にあつたかというところを整理した上で今回はシンプルに、Sクラス並びにSs機能維持と
0:58:20	ということで設計をは何だろう、設計要求が少し変化していますというところがわかるようにまとめさせていただきたいと思います。合わせて本日の資料の4番でしたかね、もう補足説明資料のほうにも反映させていただきます。以上です。
0:58:37	規制庁終える傷つい登用し購入をいたします。
0:58:41	それと最後なんですけれども、別紙の方ですねSAとの比較
0:58:51	考え方等の違いってというかSNLの考え方をざっと書いてあって、
0:58:59	ちょっと
0:59:01	私もよくわからないところがあって、東北電力のちょっと考え方を
0:59:07	説明いただきたいと思うんですけれども、
0:59:10	この別紙1ですね、最終的に、下から3行めの矢印から投与によってSA時においてもその配管が属する系統に
0:59:26	もっとメタル
0:59:28	の主たる機能を果たすために、本。
0:59:33	本。
0:59:34	壊れちゃうんですかね、流れるデータ本流の関係等配管こうい
0:59:42	外に該当する主配管としていう云々と書いてあるんですけれども、
0:59:49	dBにそんな7を超えるとですね。よって以降なんですけれども、
0:59:57	dB1の安全停止になるんですかね、安全停止する際に、こういって、
1:00:05	あと、もうずっと同じで、
1:00:11	ずっと
1:00:15	最後のほうなんですけども、これ、この
1:00:19	数量の考え方を適用すると。
1:00:23	ちょっと運用の方が言うの忘れたんですけれども、上の比一つ目のポツですね主蒸気逃がし安全弁ドイSA設備等、
1:00:36	答弁。
1:00:37	そのSA設備である主蒸気逃がし安全弁が作動する。
1:00:43	再っていう記載があつて、
1:00:46	ここまで含めてdBに置き換えて考えると、
1:00:51	DBのほうでは主蒸気逃がし安全電話まず耐震のSクラスですと、
1:00:59	Sクラスである主蒸気逃がし安全弁が作動する際その排気がルールである。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:06	事業所安全だな。
1:01:08	いや、排気管を通してサプレッションチェンバに排気されることっていうのは、この辺をですね。
1:01:16	dBに置き換えると、
1:01:18	同主蒸気逃がし安全弁排気管でSクラスになるんじゃないかなっていうふうにちょっと思ってしまうんですけども、それについてちょっと東北電力の考え方を説明してください。
1:01:37	はい。
1:01:39	入っておく電力ナラダテです。潰せこも詳細の行為等をちょっと別途させていただきたいというふうに思いますが、SLAの施設区分につきましては有効性評価等でそれぞれ衛星を収束させるためのプラントシーケンスを考慮したと。
1:01:59	委員にこの排気管が健全であることが前提になっているとか、多分そういう考え方がまたデビット違った状態を考慮しているというふうに思っています。そこら辺すいませんちょっと私もしっかりと把握して今しゃべってるわけではないのでへの確認の上、御説明させていただきます。以上です。
1:02:18	規制庁駅お勧め等よろしく申し上げます。
1:02:22	別途資料の項に関して私からは以上です。
1:02:35	すみません、ちょっと規制庁のカタグリですと資料の5で先ほどのウエキからのコメントもあるんですけど。
1:02:43	ちょっと確認させていただきたいんですけど1ページに目の表1で、
1:02:50	D/W内については凝縮できるから圧力が上がらないっていう記載なんですけど。
1:02:58	下のサブチャンのほうは凝縮ができなくなるとしか書いてないんですけど、これ恐縮ができなくなるからどうだっていうとこまで書けないんでしょうかって言うのは、
1:03:13	吊具逆を言えば多分圧力なのかもしれないけど、何か温度厳しいような気がして、
1:03:20	ちょっとそこら辺を何かもうちょっと具体的に書いていただきたいんですけどいかがでしょうか。
1:03:30	。
1:03:32	はい、東北電力ナラダテです。
1:03:36	ダイエーと今までのカタグリさんのご指摘系とサブチャンの気相部で轟川が破断した場合の影響ですね今コア等どちらかというとドライウエル内と同様に圧力の観点みたいな形で業種と蒸気の凝縮性の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:03:51	について記載していますが、温度の観点も含めてその規則で破断した場合こうなりますみたいな文章に修正させていただきたいというふうに思います。以上です。規制庁カタギリですよろしくお願ひし、ちなみにこれ評価とかはやってるんですかね。
1:04:13	配当電力ナラダテです。
1:04:16	すいませんここも正確なところは別途回答とさせていただきますが恐らくは具体的な評価みたいなものをやってないんじゃないかなと思います。また別途、詳細回答させていただきます。以上です。経常片岸よろしくお願ひしますであと3ページのこれもきつと記載だけなんですけど、プラントシーケンスっていう表があつて、
1:04:36	これ全部枠の中、機能維持機能維持機能維持ってなつてて、これ多分、どつか起きてから安全性確保の中はであつたところまで、この中の三つで全部機能維持されているような気がしてて、ちよつと何かシーケンスって感じじゃないのかなつていう気がするんですけども、例えば何か
1:04:56	ECCSとか、何か作動して圧力低減装置で圧力低減したからバウンダリが機能維持されてるみたいな書き方だとわかるんですけど、ちよつとこら辺の記載を工夫いただけないでしょうか。
1:05:13	。
1:05:14	はい、東北電力ナラダテです。確かにご指摘の通りなんか、3ページだけ機能時期の紳士書いちゃっていますので、多分ちよつと先行の記載に引きずられちゃつたかなと思います。2ページはご指摘の通り砂防とかですね実際にどういった動きをするかつていう気になっているので、2ページにちよつと合わせて3ページ記載終了させていた。
1:05:34	期待と申ひます。以上です。規制庁会議室よろしくお願ひします私から以上です。
1:05:44	こつから5番の資料に関して何かありますでしょうか。在宅の方5番の資料に関して何かありますか。
1:05:55	よろしいですか。引き続き6番の資料に関して確認等あればお願ひします。
1:06:08	規制庁駅です。
1:06:11	えつとですね。
1:06:14	センコー、
1:06:16	なお、資料とつ工夫してちよつと確認なんですけど、ただファンというのは対象にならないんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:28	東北電力ナラダテすみませんちょっと今の議論もご発言が聞き取りづらかったんですけど、何の設備のことを今お願いしたい。箇所が切れですね横形ポンプのほかに。
1:06:44	ファンですね、SGTSのファンっていうのも号棟見直しする設備ということで、
1:06:51	フォンについてSGTSのファンを代表としてこういう周期の確認をしているんですけども女川は横形ポンプ、
1:07:02	合併なんですがこの違い高騰を教えてくださいなんですけど。
1:07:09	配当電力ナラダテです。はい。Pさんから今の御指摘あったファン空調機関係ですね排風機とか送風機とかございますが、山ごもりドイにおきましてはファンについて建設時からすでに固有周期の計算を実施してございますので、
1:07:25	それぞれについてこうであることを確認した上で計算書がつくられているので、今回は今回はといいますか。そういった観点で設備を調査してございます。定説その女川2号について説明を調査したところを横軸ポンプについてだけAと設計、設計判断ということで十分にこうであるという判断を行っていたので、
1:07:44	今回は横軸ポンプを対象にしているということでございます。ただ、すみません、一つですねちょっと今御説明しておいたほうが良いと思うんですが、空調機ファン関係なんです、建設時固有周期を算出しているんですけど、今回申請している補正工認であたかもエンジニアリングジャッジで購入しているかのような
1:08:04	書き方になっている計算書が幾つかございます。これ今回の調査に気づいたので、大変申し訳ないんですが今後補正をかけてですねしっかりとこういう周期計算した結果に置き換えて補正をする予定でございまして、そういったところがですね機能ちゃんと最終的な計算書でわかるようにしたいと。
1:08:22	いうふうに思っております。以上です。
1:08:25	。
1:08:26	規制庁寄与するとありました。それと等、
1:08:37	15-7と7ページなんです、
1:08:45	ここもちょっと記載を充実していただくとしていただきたいんですけど。
1:08:52	今回
1:08:55	ぜひ検討した遠い。
1:08:58	困窮。
1:09:00	その他のポンプ。
1:09:04	いや、構造、
1:09:06	とか振動特性でほぼ同等だっというふうに判断してるのかなと思うんですけども、そう判断してるのであればその旨、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:20	記載をしたらどうかというふうに思うんですが、いかがでしょうか。
1:09:28	。
1:09:30	はい、東北電力ナラダテです。
1:09:33	ウエキさんは未処理がおっしゃる通りですね横軸タンクにつきましては条約に規定されている絵とか立木をそれぞれ使っているものでございますので、構造が大きく異なることは当然ございません。いずれもですねケーシングがっちりした構造になっていて、
1:09:49	十分な剛性を持っているということがもう旧見るより明らかというか、そういったことでございますので、そこら辺ちょっとJappの形で使っていて、類似構造ですとかそういった記載を充実させたいと思います。以上です。
1:10:05	規制庁いけそうします。
1:10:07	それ等も今回を計算で合同でやるってということにはされているのですが、
1:10:15	ちょっと説明性を上げる観点からですねこの(2)に横形ポンプの加振試験。
1:10:24	やって、
1:10:26	いると思うんですけど、けれども、そこで
1:10:31	共振振動数の確認をされていけば、ちょっとその結果をつけてもらえないかなという
1:10:40	盗難ですがいかがでしょうか。
1:10:47	東北電力ナラダテです。
1:10:49	はい。オウム骨子のいろいろと機能確認済み加速度を作る協研とかいろいろやってございますので、その中で価値認識に当然やられていると思いますのでちょっとそこら辺調べて、何か×処置があれば聞きたいと思います。以上です。
1:11:09	規制庁議決をお願いします。
1:11:13	記載の確認なんですが、ちょっと見ページ
1:11:19	戻って下のほうの記号の図中にある記号の説明で、
1:11:26	CP側KB♪警備Ⅱですね時空系のCPがオープンな場するっていうふう書いてあるんですが、このCPってのはどこかで説明はあるんでしょうか。
1:11:42	はい東北電力ナラダテです。です名神PDは特段、
1:11:49	規模機能というか略語の説明は入っていません面をカップリングのことでございますが、
1:11:56	ということでどこか最初に、2ページのこの図1-2のところ初めて出てくるのでちょっとここでわかるように記載修正させていただきます。
1:12:06	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:08	規制庁幾つわかりましたカップリング
1:12:11	100 ですか。はい。
1:12:15	ちょっとですね。
1:12:17	規制庁ウエキです。ちょっと先行と比較したときに、
1:12:22	細かいんですけども持ち警備湾警備Ⅱの所に先行のラージある軸受っていうふうに書いてあって、
1:12:35	3 ページのほうですね、
1:12:39	上の図の警備員の説明事項については、スラスト軸受けっていうふうに書いてあるので。それに対応するとすると。
1:12:50	2 ページのほうJR軸決定と書くべきなのかなと思うんですが、いかがでしょうか。
1:12:59	ただ、
1:13:00	はい東北電力のナラダテという御指摘の通り 2 ページは陸直角と鉛直なのでらJR軸受の剛性を使ってね乗数出してございますので、ちょっと 3 ページ。
1:13:11	に沿って書いていますので、こちらに流れて入れたほうがいいと思いますのではい修正させていただきます。以上です。
1:13:19	規制庁駅のそのお願ひしますと同じ 2 ページですね
1:13:24	右側のM案記号の説明のM案のポンプケーシング省なんです、これが先行機とのほうではですねポンプで数。
1:13:39	水試料を含むっていうふうに書いてあるんですが、女川ではそれが書いてなくて、何か例えばベースを含みませんか、水資するを含んの損とか、
1:13:51	そういうことで、この括弧書きは、
1:13:57	で消火栓後期にある。
1:14:04	はい東北電力ナラダテです。
1:14:06	運営とすいませんちょっと先行のちょうど確認させていただいて時ことはちょっと考えますか、原料すいません。主 5 のほうはM2 に図示を含むと書いていて、ちょっと違いがあるかもわからないのですいませんここを詳細確認して等ですと、
1:14:26	水ですね、ここら辺の重量が同封残されているか、記載したいと思います。以上です。
1:14:32	規制庁起きるするお願ひします後ながら選考のほうはレベルⅡのほうはもう、あの水白が入って、
1:14:40	いるので、両方に入れているのかなというふうに思ってますそれで、この間取り図
1:14:49	も見ると、やっぱりMR

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:53	Q&支持部の構成と書いてあって、指示文を御性っていうのがどんなものなのかっていうのをちょっとよくわからないんですけども、例えば何か基礎ボルトとかなんかだとすると。
1:15:11	保安んちゅうのはベースの重量も入って、
1:15:16	しかるべきなのかなというふうになんて思っただけで
1:15:22	基礎を外したのかなというところで確認しました。
1:15:27	それとですね、これをちょっと図の書き方という注視していただきたいんですから、上の図の1-1で、
1:15:37	厳冬上の厳冬期とかポンプですっていうのが、後もポンプもそうなんですけど、家矢印がなくてただの近くに
1:15:48	記載してるだけなので、やっぱりずれしますときにはちゃんと矢印どこの部分かっていうのを記載するようにしていただきたいんですが、ただでしょうか。
1:16:03	配当電力ナラダテです。はい、承知しました頭痛の記載のほうですね、矢印記載するようにはい修正させていただきます。以上です。
1:16:16	規制庁気密性直しますと、
1:16:20	すごい細かいですけど。
1:16:23	だめだめ上するっていうのをカタカナはずだなってなってるんですけど、公認では、多分ほかの経産省の何かでは平場なのかなというふうになんてその辺ちょっと確認をお願いしたいんですか。
1:16:42	はい東北電力ナラダテです。
1:16:44	はい、おっしゃる通り広げも御基本的につこうれる方だと思います。CEAと本資料においても4ページ以降とかはひらがなの種と使っていて逐一なっているので、すみません。
1:17:00	ここひらがなに統一させていただきます。以上です。
1:17:05	規制庁劇物お願いします。選考にならって書いている。
1:17:10	のでこういうことになってると思うんですが一応東北電力としてその適正適切な記載っていうのはどんどんやって欲しいと思うので、よろしくお願いします。
1:17:22	私からは、6番については以上です。
1:17:29	はい。Look版の資料で確認等ありますでしょうか。
1:17:42	規制庁ハツリです。
1:17:47	今、主に記載だけの話なんですけど、
1:17:51	まず1ページ目の上の3行目に、本資料ではサービス行いこういう周期を十分に小さく剛体であることの確認を行ったって書いてあるんですけど、この剛体ってキーワードが、この最後の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:07	6 ページ目のところにも剛体であることを確認した剛体であると判断して書いてるんですが、
1:18:14	今後という意味はどういう意味なんでしょう。ごじゃごと交代で違うんでしょうか。
1:18:23	再東北電力ナラダテです。そう大きなところそこまで強いこだわりがあって交代と書いているわけではなくて、向こう 10 の判断 20Hz で実施してございますので 20Hz 以上であったということを確認しましたということを書きたかったというだけでございます。
1:18:40	記載は別に先ほどウエキさんからもあった通りちょっと先行さんに引っ張られて書いている部分がありますので、後であることの確認を行ったというふうにならうと記載改札ていただきたいと思います。以上です。規制庁鳥栖多分剛体っていうと、現在の剛性っていう意味合い
1:18:56	にとられかねないんでちょっとその辺を注意していただければと思います。それとですね 2 ページの図 1-1 なんですが、
1:19:04	下の図 1-2 のほうに計算モデルで方向の矢印が出てるんですが、ちょっと確認したいんですが、鉛直方向は間違いなく上下でわかるんですが、この図 1-1 で行くと、この市民も最後どっちの方向になるんでしょうか。
1:19:22	軸直角方向の過時効こうなのかっていうのは、
1:19:29	配当電力ナラダテです。上のあれですね、図 1-1 の再紙面左右方向だと思いますが、こちらは時明細方向は軸方向というふうになります。
1:19:39	規制庁の服部です。そうするとその紙面。
1:19:43	向かってそれを取り入れる方向は軸直交方向ということですね、わかります。それとして、2 ページの図 1-2 の計算モデルの中で、
1:19:54	鉛直方向のてるに頸椎=F格好云々って書いてあるんですが、これは次の 3 ページの式を見てやると軸直角方向と鉛直方向が共通の工数になってるんです。
1:20:12	こういうのは統合性の関するということを表す式という理解でよろしいでしょうか。
1:20:21	配当電力ナラダテ遊佐ハツトリさんも堰の通り時計通話Kr警備員は警備つうの三つの剛性を合成した予算ページの式ですね、算出しますのでそれを表現するための記載ということになってございます。
1:20:40	規制庁というのを 3 ページ見ていると軸直方向と鉛直方向が同じような同じ式になってるんですが、そうすると、軸直方向モデルも統計通話回数なんだけど、すでに延長工法モデル定義書てるから、記載は外してるっていうことですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:00	東北電力ならではという最後理解の通りちょっと繰り返し言わ書かずにですね記載は省略したということでございます。規制庁鳥栖了解しました。私から以上です。
1:21:15	はい、⑥の資料で、ここにありますか。
1:21:22	在宅の方何かありますでしょうか。
1:21:28	よろしいですか。違うと。
1:21:32	氷二つまず 7 番のほうの資料で確認あればお願いします。
1:21:44	。
1:21:46	このヤマウラですけど、
1:21:49	それと予備系だ断面と関係断面のそれぞれちょっと
1:21:55	違うものを使ってるんですけど、これ
1:21:59	来工認、
1:22:02	その後どうだったんでしょうか、ちょっと教えていただけますか。
1:22:10	はい東北電力ナラダテです。性格の状況は確認して回答させていただきますが、既工認におきましても設置構造物としての基礎ボルトとか取付ボルトですね、こちらは予備系で評価していたと記憶しています。
1:22:25	1 分を当配管系のフランジ部を接合するようなボール東欧は基本的には最初断面ですかねこちらで計算していたと思われま。ただ、耐震計算書にがこういったフランジ部のボルトは、評価対象部位として出てきてないの。
1:22:45	計算書で明示されているってことはなかったことと思います。ただ今回し、もう新規性基準の工認におきましては、具体的に言うとECCSストレナーでええとフランジ部の取付ボルトが評価対象部位として出てきてきてきておりますのでこういったところで最初、
1:23:04	断面の評価結果が出てくるということかと思っています。以上です。また確認して、正確なところは回答させていただきます以上です。
1:23:14	了解いたしました。私からは以上です。
1:23:21	7 番の資料をよろしいですか。在宅の方が何かありますか。
1:23:30	よろしいですかね。最後、8 番の資料で確認あればお願いします。
1:23:42	規制庁ウエキです。
1:23:47	すみません。
1:23:49	言葉の
1:23:52	表現の仕方なんですけど、1 ページ。
1:23:56	例えば、2 ポツで、補正におけるとか、あと 2 行目辺り、補正工認、
1:24:06	いうふうに
1:24:10	もう 1 点。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:11	タイトルも補正工認で書いてあるんですが、これは他の
1:24:18	この補足説明資料等の伊方等全部こん今回工認、
1:24:23	のかなっていうふうに思うんですが、構造でしょうか。
1:24:30	はい、東北電力のクマガイです。恒設指摘の通りと今回工認という運営使い方が一般的かと思imasので、こちらの資料全般的に修正かけたいと思imas。
1:24:45	規制庁いけそうお願いします。
1:24:47	ちょっとそれから
1:24:51	ですが、
1:25:07	2 ページ。
1:25:10	ですけども、
1:25:16	今回
1:25:19	原子炉圧力容器 3.3 の圧力容器の窓が構造物ですか。これ等、
1:25:27	3.1 の圧力容器等 3.2-A と炉心支持構造物の考え方。
1:25:37	間違っている。
1:25:39	と思うんですけど、これでちょっとヒアリングはどうかちょっと覚えてないんですけど、この考え方の違いについて何か別の補足説明資料で、医療は炉内構造物の一般機器と同じ扱いで、
1:26:01	LOCA後の採泥最大
1:26:04	荷重を使う。
1:26:06	いうようなところを補足説明資料でちょっとまとめていただいていると思うんですか。今回もその資料があると思うので、
1:26:17	ちょっとそれについてはその補足説明資料を呼び込んだ上で、
1:26:24	当圧力容器内部構造物
1:26:27	圧力容器とか炉心支持構造物違うってところを説明する。説明っていうか記載すべきかなと思うんですけども、いかがでしょうか。
1:26:43	はい、東北電力のクマガイです。今ほどの御指摘ですけれども、当圧力容器、炉心支持構造物等炉内構造物の違いについては、こちらの資料には記載してございませんがP4 ページ目ですね
1:27:02	4 ポツ 1 ポツ 1 に記載勢力補足 600 の 19 重大事故等を対象施設の耐震設計における重大事故等を実施指針の組み合わせについてというものに考え方について当期最初ございます。そちらの考え方については
1:27:22	助役 46① のですね 1984 年度版の影響限界影響力区分等を確認しまして当圧力容器バウンダリ等全般設備と

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:27:37	いうふうな違いを違いがあるということで記載してございます。本資料においても、わかったのその辺が確認できたほうが良いよいと思いますのでその辺通知させていただきたいと思います。はい、以上になります。
1:27:57	規制庁域です。
1:28:02	私からは以上です。
1:28:09	結果⑧について確認等あればお願いします。
1:28:16	規制庁のヤマウラですけども。
1:28:21	表 2.1Gの
1:28:29	原子力
1:28:31	原子炉圧力容器の内部構造物なんですけども規準例をS案を組み合わせた応力評価なんですけども、今回の評価では、SDとSs
1:28:44	両者に対して評価することになってるんですけど、この
1:28:49	変わった理由を説明してください。
1:28:53	東北電力のクマガイでございます。こちらの沢ですね、応急JEACのほうでは当該設備についてAクラスと区分されております。今回の基準からですねエース及びAクラスについてはSクラスとA区分Aクラス、
1:29:14	保険されますので、Sクラスの耐震評価に基づいて当評価するというものになってございます。以上になります。
1:29:26	了解いたしました。
1:29:28	何かその付近、ちょっと何か。
1:29:31	褶曲中期みたいな格好で説明することはできないでしょうか。
1:29:38	東北電力のクマガイでございます。本件について記載の検討させていただきたいと思います。
1:29:47	それから2 ページで先ほどウエキのほうから話があったところなんですけども、3.3 項の原子炉圧力容器内部構造物で
1:29:57	1 掛ける 10 のマイナス二乗年未満も地震と組み合わせるということなんですけど。
1:30:06	まず、ここの3行目で、
1:30:09	耐震評価を行う必要があるというふうに書かれてるんですけども。
1:30:17	一般的な
1:30:20	組み合わせの確立の面から考えると、
1:30:27	耐震評価を行う必要はないように思うんですけどこれどういうことで、必要があるということになったんでしょうか。他の資料に何かあるようなんですけどちょっと教えていただきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:43	はい、東北電力のクマガイでございます。今ほどのご質問につきまして回答させていただきますと、先ほどもちょっと紹介しましたが、補足 600 の 19、重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と、
1:31:01	地震の組み合わせについてということでそちらの資料のほうで検討してございますのが、当圧力を基盤と原子炉圧力容器バウンダリ後は減少格納容器盤なりその他全般設備と
1:31:18	この三つに区分しましてええと荷重の組み合わせについて検討してございます。
1:31:23	その内ですね、圧力容器につきましては当然事故シーケンスを踏まえて、Bの評価条件を上回る期間、こちらが運転状態 5Sの期間になりますが、
1:31:38	事故発生を非常に短期の状態が収束するというのでこの組み合わせが不要としてございます。一方で全般設備については相殺な評価を行っていないことから、せいぜい生後の荷重に対してと組み合わせますと、
1:31:57	いう方向で方針のほうを立てております。先ほども御説明しましたけれどもこちらの圧力容器バウンダリ委員に区分されますのは、若干の整理の踏まえますと、圧力、原子炉圧力容器及び
1:32:14	炉心支持構造物の該当しまして、原子炉圧力容器内部構造物については洞道全般設備に区分されるということになります。
1:32:24	よってですね全般設備に区分されることからですね、運転状態 VS
1:32:30	LエルL、すべての期間を考慮して耐震
1:32:36	設計上映と組み合わせる荷重を設定するというものになってございます。説明のほうは以上になります。
1:32:44	はい。規制庁のヤマウラです。一応了解いたしました。
1:32:48	これは
1:32:50	元来は多分きっちり評価すれば、
1:32:54	組み合わせる必要がない。
1:32:57	ということなんでしょうけどもまあ設計の便宜上、
1:33:01	そうそういうふうに安全側に組み合わせているということでもよろしいんでしょうか。ちょっとか解釈だけの話なんですけど、いかがでしょうか。
1:33:11	東北電力のクマガイでございます。ヤマウラさんの御認識の通り等詳細に評価すれば組み合わせなくてもよいと整理できるかと思いますが、今回は保守的にですね、前衛星後はSA発生後、
1:33:29	すべての期間の評価条件を見て、一番厳しい条件と組み合わせるという方向にしたものでございます。はい、以上になります。
1:33:38	続きました。あと 1 点だけなんですけど 11 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:43	昨日、
1:33:44	記号の説明の下から2番目のD
1:33:49	PSADなんですけど。
1:33:52	重大事故時の状態で、その設計圧力による荷重という
1:33:59	設計圧力という用語が使われてるんですけども。
1:34:02	基本的には設計圧力という用語は工認本文では使われてないと思いますので、これ最高使用圧力ではないかと思うんですけども。
1:34:14	ちょっと、
1:34:15	私が以前からこだわってるのは
1:34:18	昭和45年の告示G、
1:34:23	要は最高内圧を0.9倍を設計圧力というふうに定義されてたんで、その最高使用圧力と設計圧力が同じレベルで使われると。
1:34:35	ちょっと何か。
1:34:38	嫌だなという感じがするんですが、ちょっとこの付近の用語について再検討をお願いしたいんですけどもいかがでしょうか。
1:34:49	はい。東北電力のクマガイでございますこちらの要綱については改めて検討させていただきますと思います。
1:35:01	ちょっと補足しますと格納容器に接続される全般設備につきましてはですね、格納容器の格納容器体制で用いる200の2Pdでそちらのほう用いて設計するものもあり、あることも踏まえてですね。
1:35:20	そちらの圧力については設計圧力というものになりますのでこのような記載になってございます。
1:35:28	公認とも照合しまして適切な用語に記載したように用語で記載したいというふうに考えております。はい、以上になります。
1:35:41	ました。私からは以上です。
1:35:47	国内よろしいですか在宅の方8番の資料について何かありますでしょうか。
1:35:54	規制庁のほうのですけれども、
1:35:57	ホリノさんお願いします。
1:35:59	これD12ページのサイト先ほどちょっと誤記があったという。
1:36:05	上の給水ポンプ停止の温度■■■■具申包絡されないっていうかあるかと、ちょっと一つの
1:36:15	草津の方もちょっとよくわからない。
1:36:19	よくわからんですけど、これはほどの御指摘につきましてはピーク差圧について原子炉圧力容器の応力解析の更新側にですね各設備のピーク差圧のほうを記載してございまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:35	そちらのDBO側を上回っているというふうになり ます。温度の方もですね先ほど同様にですね、° 圧力容器原子炉圧力容器 の応力解析の方針側に恩力、
1:36:53	温度のほうを記載してございまして、やはりここに記載の数字を上回るというも のになります。説明は以上になります。
1:37:05	成長のと、これですけど、今の説明で大体わかりますけど、具体的には占い日 でした。
1:37:17	というのが一番
1:37:20	表現的には簡単ということになるわけですから、今揚水ポンプ停止の温度 年ごろフォローアップさせないというような表現に、
1:37:30	なるんでしょうか。
1:37:34	すいません規制庁ミナカワです。すいませんけど穴を6円0ヒアリングをやっ ていますので今の規制庁側からマスキング対象のところ発言が2回ありまし たけれどもそこの削除をして、議事要旨として公開したいと思えます以上で す。
1:37:55	規制庁の方に移しました。
1:37:59	はい、東北電力の桑川でございます。記載のほうにつきましては現状の通りで すね、給水ポンプ停止の温度、
1:38:09	に包絡されないというふうなに記載をしようと考えてございます。以上になりま す。
1:38:19	規制庁のほうの数量化しました。
1:38:25	はい、ホッカンハチバンの資料で確認等ありますでしょうか。
1:38:31	規制庁駅です。
1:38:33	ちょっと起算に関わるものなんですけども、
1:38:39	1ページのはじめにのところで、この資料が何に関わるものなのかっていうの をやはり頭のほうに書いていただくとわかりやすいかなと思っていて、4ページ にですね。
1:38:55	4.1. 1に機能維持の方針とか、補足説明資料が出ているので、これまここにも 書いていただいていいと思うんですか、ちょっと同じものをですね、ちょっと始 めのところにもう
1:39:12	ちょっとなお書きで、なお書きというのは、例えば7.7番の資料ですと、はじめ にのところになお書きでですね、関連するものを書いてあるので。これがある と、何に関するものなのかっていうのが最初のほうでわかるので。
1:39:30	ちょっと同じように、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:34	初めのところに書いていただいたほうがいいかなと思うんですが、いかがでしょうか。
1:39:42	はい、東北電力のクマガイでございます。資料に資料のわかりやすさの観点で記載したほうがよいと思いますのでそちらのほう修正させていただきたいと思います。以上になります。
1:39:58	規制庁大木です。お願いします。
1:40:00	ちょっとごめんなさい、ちょっと資料のですね
1:40:03	はい。
1:40:15	失礼しました。資料の 5 番に戻るんですが、
1:40:22	記載。
1:40:24	んついて、
1:40:25	手続きが別紙 1 ですね、ここに
1:40:32	2 ポツのところに発電用原子炉施設の工事計画に係る手続きガイドっていうのが出てくるんですけど、これはちょっとかぎ括弧なんかで
1:40:45	回答書いていただいたほうがちょっとわかるのでちょっと書いていただけないですかちょっと先行は丸秘括弧書き方がよろしくなくて非常に何かおわかりづらい書き方になっているので、
1:41:00	ふうん。
1:41:01	このようにしたほうがいいと思うんですが、いかがでしょうか。
1:41:05	はい。
1:41:07	該当電力ナラダテました。
1:41:09	はい。墓石の通り、他のなんだろう。Guideとかマーケ基準類とか、そういったものの呼び込みの最後ですねあった方が解雇男あったほうがわかりやすいと思いますのでご指摘踏まえて修正させていただきます以上です。
1:41:25	規制庁劇物よろしく申し上げます以上です。
1:41:30	はい、それでは全体通じて確認委員があれば申し上げますが、
1:41:37	よろしいですか。
1:41:40	在宅のこと全体通じて一番から 8 番まで確認があれば、
1:41:46	お願いをしますワークショップの後ですけれども、
1:41:51	この予算をお願いします。
1:41:54	途中から参加したのではあるんですけど 20 資料 2 番、資料の 2 の
1:42:00	59 ページに
1:42:05	ドライウェルスプレイ管、
1:42:07	そうですね四角のマークにこれを変更されたんですか。この意味合いをですね教えて欲しいんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:23	はい東北電力ナラダテでございます。資料 2-59 ページですねはい。Kmハツチングして宿泊に載っているドライウェルスプレイ管がございます。資格の希望でございますが東垂四角とか丸と四角でございますがMARUWA耐震計算書を添付するもので四角新しい計算書添付しないものと、
1:42:43	ということになってございます。ドライウェルスプレイ管につきましては、実はこれ補足 600 人の別の資料でちょっとご指摘受けてる内容でございます、ドライウェルスプレイ管は別表第 2 応急で耐震計算書を添付の要求があるんですが、
1:43:00	耐震ようにですねと強度計算のほうが支配的なのでここへと建設時から耐震計算書をつけていないところということになってございますので、そこら辺も情報がですね、以前はおそらくあって丸になっていたのが今回適正化して四角にしているということでございます。
1:43:18	ちなみにドライウェルスプレイ管の耐震計算書省略している理由につきましてはその後当該一補足一五、六百一で個別にですね 3 月 25 日のヒアリングで説明させていただく予定になってございますのでちょっとそちらですね背景とか理由。
1:43:33	確認いただければというふうに思います。以上です。
1:43:39	規制庁のほうのです。了解いたしました。私からは以上です。
1:43:45	はい、他よろしいですか。
1:43:50	それではこちらからも確認は以上ですが、事業者から何かありますか。
1:44:00	東北電力ナラダテ政党東北電力の本店側からはございません。
1:44:06	はい、東北電力の飯田でございます。特にございません。
1:44:11	了解しました。それではただいまをもちまして起電耐震のヒアリングを終了したいと思います。お疲れ様でした。
1:44:20	等ございました。
1:44:21	ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。